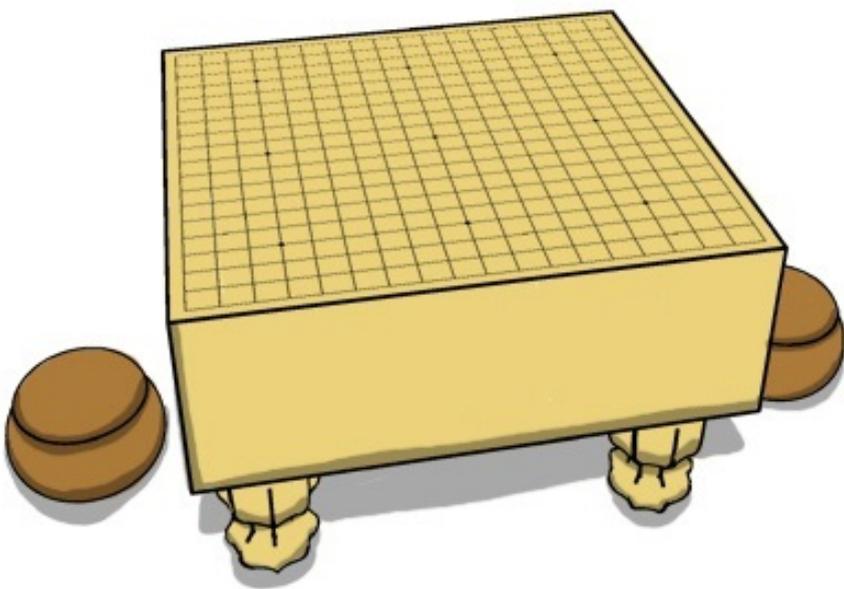


碁、それは春の世の夢

―囲碁と古典?のパロディ― 3部作―



本蛤の石の声

諸行無常の響きあり

櫃六寸の碁盤の色

弱者必敗の理をあらわす

広き模様も久しからず

ただ春の世の夢のごとし

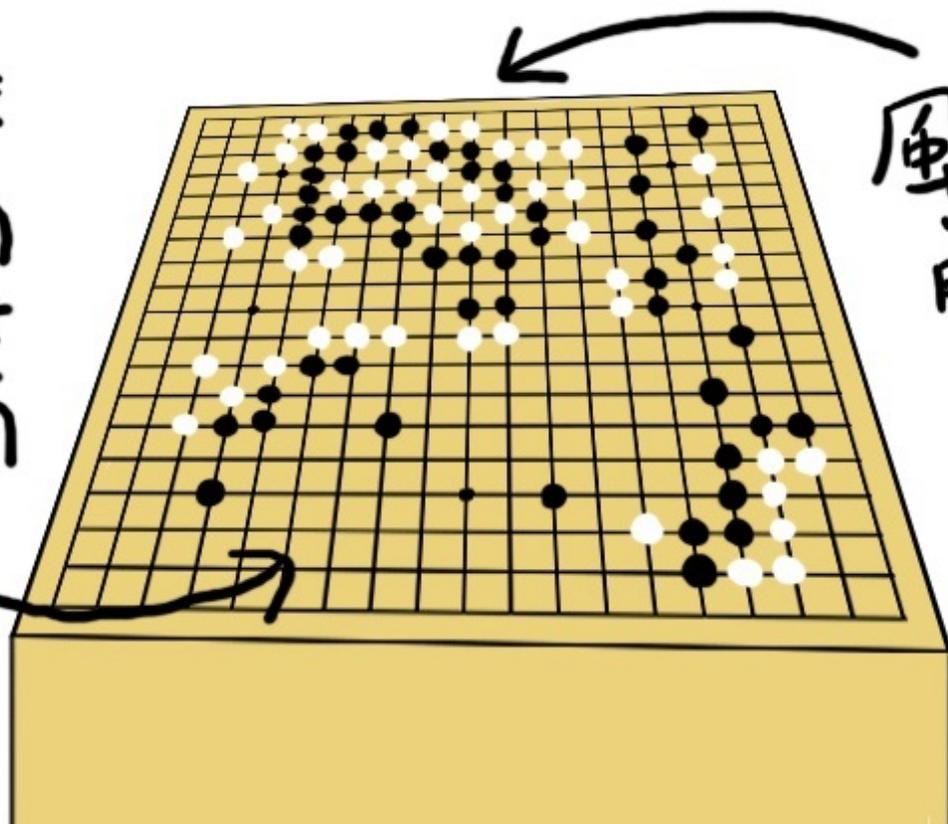
大き石も遂には滅びぬ

偏に風の前の塵に同じ

風の
前の
ちり

十景の
から

あ



「雨ニモマケズ」

雨ニモマケズ

風ニモマケズ

仕事デイヤナコトガアツテモ耐へ

囲碁ニモマケズ

将棋ニモマケズ

オセロニモマケナイ

サウイフモノニ

ワタシハナリタイ



徒然なるままに

徒然なるままに日暮らし

碁盤に向ひて

心にうつりゆくよしなし定石を

そこはかどなく並べ付くれば

あやしうこそものぐるほしけれ



碁、それは春の夜の夢

<http://p.booklog.jp/book/46260>

著者：たれ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/tarepaito/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/46260>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/46260>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.